

50年後の 目指す姿

この広場は、道民のみならず、国内外からも数多くの方々が訪れ、家族や仲間と楽しむ交流空間になっています。広場の中心にあるモニュメントは、はるか太古から連綿と続く北海道の歴史・文化と、今日の北海道を築き上げてきた幾多の先人の思いを引き継ぐとともに、お互いの多様性を認め合う共生の立場で、未来志向に立った将来の北海道を象徴する役割を担っています。また、大地の手広場には、人と人をつなぎ、絆を大切にしようという建造の精神が引き継がれています。利用者の方々は、犬を連れて自由に散策したり、友人や仲間たちとバーベキューやボール遊びを楽しむなど、周辺の自然豊かな森林を背景に、安全で心安らく憩いの場としての役割も果たしています。

北海道百年記念広場（仮称）整備事業 イメージ図

（写真や各デザイン等は、参考イメージ）

百年記念塔は、先人に対する感謝と躍進北海道のシンボルとして、また道民の貴重な財産として長く親しまれてきました。

しかしながら、記念塔は、建設から50年近くが経過し、老朽化が進み、錆片などの落下もあることから公園利用者の安全性を確保することが重要であるため、平成26年7月から立入禁止としています。道では、これまで様々な専門家の方の知見を伺いながら記念塔の維持管理の方法等を検討してきました。

記念塔の外板パネルの穴あき、波打ち及び錆片の落下は、主に、雨水の塔内部への侵入や雨水が溜まりやすい構造に起因した腐食によるものと推定されますが、塔の構造上、雨水の浸入を完全に防ぐことや、これ以上の排水対策は難しいことから、今後の老朽化の進展を完全に防ぐことは困難であるとの結論に至りました。

このため、利用者の安全確保や将来世代への負担軽減等の観点から、解体もやむを得ないと判断し、その跡地には、新たなモニュメントを設置することとします。（発展的継承）

■未来志向に立った将来の北海道の象徴「新たなモニュメント」の設置

◇具体的な取組例

- ・レリーフや解体材の有効活用を検討
- ・耐久性や今後の維持管理にも配慮



■「大地の手広場」の建造の精神の継承

◇具体的な取組例

- ・屋根の設置（太陽光発電）

※大地の手は、「青年の像『大地の手』実行委員会」がボランティアで創造・設置運動を進め、昭和48年10月に完成、道に寄贈されたもので、国内外合わせて約5,300人が参加し、元横綱大鵬等道内にゆかりのある著名人の手形もあります。



道立埋蔵文化財センター

- 利便性の向上（バリアフリー、多言語化等）
- 情報発信の強化
- 利用者アクセスの向上（バス交通の充実等）

北海道開拓の村

- ・ 歴史的建造物の価値向上
- ・ 利用者が楽しめる機会の充実

■動物たちとのふれあいやシーン・四季を通じた体験・遊びの提供

◇具体的な取組例

- ・ スキー・そり・グランピング・パークゴルフ・ドッグランの整備 等



人々が行き来し、各施設に賑わいが広がる

北海道博物館

- ・ 展示品、特別展の充実
- ・ 新たな楽しみ方の提供

■噴水・水辺の創作

■草花による彩りの創出

◇具体的な取組例

- ・ 花壇の設置・桜の植樹 等



百年記念広場

記念塔跡地

大地の手広場

歴史・文化 体感・交流エリア

道民の皆様のご意見や、民間事業者からの提案を踏まえながら、新たなモニュメントを中心とする賑わいのある広場の整備を推進します。

自然 体感・賑わい創出エリア

■子どもの水遊びとして、噴水・水辺の創作（噴水の再整備）

※プロムナードと一体的に整備



芝生広場

プロムナード

噴水

■民間活力の活用等による賑わいの創出

◇具体的な取組例

- ・ キッチンカーによる飲食物の提供
- ・ ファーマーズマーケットの開催 等



構想で示した方向性とアンケートやワークショップ等で寄せられたアイデアをもとに作成

正面広場

駐車場